



# Sun Enterprise™ 10000 Capacity on Demand 1.0 リファレンスマニュアル

---

Sun Microsystems, Inc.  
901 San Antonio Road  
Palo Alto, CA 94303-4900  
U.S.A. 650-960-1300

Part No. 806-5029-10  
Revision A, 2000 年 10 月

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

**Federal Acquisitions: Commercial Software—Government Users Subject to Standard License Terms and Conditions.**

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、Solaris のロゴ、SunDocs、Java、Java Coffee Cup ロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サン・のロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

Java およびその他の Java を含む商標は、米国 Sun Microsystems 社の商標であり、同社の Java ブランドの技術を使用した製品を指します。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

Netscape、Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation の商標です。Netscape Communicator については、以下をご覧ください。Copyright 1995 Netscape Communications Corporation. All rights reserved.

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザー・インタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典：	<i>Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand 1.0 Reference Manual</i> Part No: 806-2191-10 Revision A
-----	---

© 2000 by Sun Microsystems, Inc. 901 SAN ANTONIO ROAD, PALO ALTO CA 94303-4900. All rights reserved.



Sun Enterprise 10000 SSP の権利の帰属:

本ソフトウェアの著作権は、カリフォルニア大学、米国サン・マイクロシステムズ、そのほか、関係する個人または組織が所有します。個別ファイルに権利の放棄が明示されていない限り、本ソフトウェアに関するあらゆるファイルには、下記条件が適用されます。

作者は、既存の著作権告知文があらゆるコピーに留められること、また告知文がそのまま頒布版に含まれることを条件に、いかなる目的でも本ソフトウェアおよび関連文書を使用、複製、変更、修正、頒布、ライセンスすることを許可します。この条件を満たす限り、使用にあたり、書面による合意、ライセンスの付与、使用料の支払いは必要ありません。本ソフトウェアに加えられた修正部分の著作権は、その適用を受ける各ファイルの先頭ページに新しい条件を明記する限り、その作者が所有するものとし、ここに規定されているライセンス条件に従う必要はありません。

作者が次に記す損害の可能性について事前の通知を受けていたとしても、作者および頒布元は、本ソフトウェア、その関連文書、またその派生物を使用することによって生じた直接、間接、特別、付随、結果損害についていかなる個人または組織にも責任を負いません。

作者および頒布元は、商品性、特定の目的への適合性、侵害行為がないことの黙示の保証を含めて、いかなる保証も行いません。本ソフトウェアは「現状のままのもの」として提供されており、作者および頒布元は、保守、サポート、アップデート、機能強化、修正を提供する義務を負いません。

米国政府関連の方は以下をお読みください。 Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions of FAR 52.227-14(g)(2)(6/87) and FAR 52.227-19(6/87), or DFAR 252.227-7015(b)(6/95) and DFAR 227.7202-3(a).

本ソフトウェア、scotty は、TCP/IP ネットワークに関する情報を取得するための、いくつかの特殊なコマンドからなる、簡単な tel インタプリタです。 Copyright (c) 1993, 1994, 1995, J. Schoenwaelder, TU Braunschweig, Germany, Institute for Operating Systems and Computer Networks. この著作権告知文があらゆるコピーに付記されることを条件に、いかなる目的でも、無料で本ソフトウェアおよびその関連文書を使用、複製、修正、頒布することを許可します。 Braunschweig 大学は、本ソフトウェアの目的適合性についていかなる表明もしません。本ソフトウェアは、黙示および明示的な保証無しに「現状のまま」で提供されます。



# 目次

---

Intro(1M)	2
codcheck(1M)	3
codd(1M)	5
codlit(1M)	7
codsendlog(1M)	9
Intro(4)	12
cod_resource(4)	13



## 第1章

### 保守コマンド

---

名前	Intro - Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand 1.0 の管理								
機能説明	このセクションでは、Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand 環境で実行されるコマンド、スクリプト、プログラムについて説明します。Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand 1.0 の実行には、SSP 3.1.1 以降が必要です。								
コマンド一覧	<table><tr><td>codcheck</td><td>Capacity on Demand のセキュアログファイルの有効性を確認</td></tr><tr><td>codd</td><td>Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand デーモン</td></tr><tr><td>codlit</td><td>Capacity on Demand ライセンスキーのインストール</td></tr><tr><td>codsendlog</td><td>Capacity on Demand のセキュアログファイルを電子メールでサ ンに送信</td></tr></table>	codcheck	Capacity on Demand のセキュアログファイルの有効性を確認	codd	Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand デーモン	codlit	Capacity on Demand ライセンスキーのインストール	codsendlog	Capacity on Demand のセキュアログファイルを電子メールでサ ンに送信
codcheck	Capacity on Demand のセキュアログファイルの有効性を確認								
codd	Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand デーモン								
codlit	Capacity on Demand ライセンスキーのインストール								
codsendlog	Capacity on Demand のセキュアログファイルを電子メールでサ ンに送信								



名前	codcheck - Capacity on Demand のセキュアログファイルの有効性を確認
形式	<b>codcheck</b> [-h] [ <i>files</i> ]
注意	このソフトウェアは、サンまたは代理店の保守スタッフが使用するものです。お客様はご使用になれません。
機能説明	<p>codcheck は、セキュアログファイルの有効性を確認するユーティリティです。デフォルトでは、codcheck は、<code>/var/opt/SUNWssp/adm</code> ディレクトリにある、すべてのセキュアログファイルを確認します。コマンド行からファイル名を指定した場合は、指定したログファイルだけを確認します。</p> <p>codcheck は、確認したファイルが有効か無効かを表示しながら、各ファイル名を標準出力に出力します。</p>
オプション	<p><code>-h</code>                    コマンドの使用法を表示します。</p> <p><i>files</i>                1つ、または複数のファイル名のリスト ( 複数の場合はスペースで区切られる )</p>
戻り値	正常終了した場合、codcheck はゼロを返します。それ以外の場合は、ゼロ以外の値を返します。
使用例	<p>例 1</p> <p>以下の例では、<code>-h</code> オプションで 使用法を表示させています。</p> <pre>\$ codcheck -h COD Secure Log Checker (codcheck) Usage: codcheck [-h] [<i>files</i>] Where:   <i>files</i> are one or more COD log files to check.   -h      Displays this help message and exits</pre> <p>例 2</p> <p>以下の例では、コマンド行で 1つのファイルを指定しています。</p> <pre>\$ codcheck \$SSPLOGGER/cod.log Checking file /var/opt/SUNWssp/adm/cod.log . . . OK</pre>

## 例 3

以下の例は、オプションを指定しない場合の codcheck の デフォルトの動作です。

```
$ codcheck
Checking file /var/opt/SUNWssp/adm/cod.log . . . OK
Checking file /var/opt/SUNWssp/adm/cod.log.0 . . . OK
Checking file /var/opt/SUNWssp/adm/cod.log.1 . . . Invalid (line 1)
Checking file /var/opt/SUNWssp/adm/cod.log.2 . . . Invalid (line 1)
Checking file /var/opt/SUNWssp/adm/cod.log.3 . . . Invalid (line 1)
Checking file /var/opt/SUNWssp/adm/cod.log.4 . . . Invalid (line 1)
Checking file /var/opt/SUNWssp/adm/cod.log.5 . . . Invalid (line 1)
```

## ファイル

codcheck は以下のファイルを使用します。

/var/opt/SUNWssp/adm/cod.log

Capacity on Demand のセキュアログファイル

/var/opt/SUNWssp/adm/cod.log.[0-12]

アーカイブされたセキュアログファイル

## 関連項目

codd(1M)

『Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand 1.0 管理者マニュアル』

『Sun Enterprise 10000 SSP 3.1.1 User Guide』

名前	codd - Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand デーモン
形式	<b>codd</b>
注意	このコマンドは、実行しないでください。このコマンドは、自動的に起動され、SSP 起動スクリプトによって再起動させるために監視されます。
機能説明	<p>Capacity on Demand デーモンは、SSP のバックグラウンドで実行されるプロセスで、Capacity on Demand システムで使用されるリソースが、ライセンスファイル中で許可されているライセンスと一致しているか検証します。</p> <p>ライセンスファイルの検証が失敗した場合や、使用プロセッサ数がライセンス数を超えた場合には、codd は以下に警告メッセージを送信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ SSP プラットフォームメッセージファイル (/var/opt/SUNWssp/adm/messages)</li> <li>■ SSP システムログファイル (/var/adm/messages)</li> <li>■ Capacity on Demand のセキュアログファイル (/var/opt/SUNWssp/adm/cod.log)</li> <li>■ SSP 上の /etc/motd ファイル</li> <li>■ ssp ユーザーと、/var/opt/SUNWssp/.ssp_private/cod_resource ファイルで指定されたユーザー (メッセージは電子メールで送信される)</li> <li>■ SSP にログインしている全ユーザー (メッセージは wall(1M) コマンドで送信される)</li> </ul> <p>codd は、使用プロセッサ数がライセンス数と同じ、またはそれ以下になるまで、警告メッセージを出力します。</p> <p>Capacity on Demand デーモンは、起動時に以下のライセンス違反がないか検証します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ライセンスファイルの検証</li> <li>■ ライセンスファイルが変更されていないかを検証</li> <li>■ ライセンスファイルに記述されている全ライセンスが、このホストで有効かを検証</li> <li>■ 使用プロセッサ数が、ライセンス数を超過していないかを検証</li> </ul> <p>起動後は、codd デーモンは SSP が停止するか、スペア SSP に切り替えられるまで、一定間隔でライセンス違反がないか検証を行います。</p>
ファイル	<p>codd は、以下のファイルを使用します。</p> <p>/var/opt/SUNWssp/.ssp_private/SUNWcod.lic</p> <p>Capacity on Demand システムのライセンスキーを含む。</p>

関連項目

/var/opt/SUNWssp/adm/cod.log  
Capacity on Demand のセキュアログファイル  
/var/opt/SUNWssp/.ssp\_private/cod\_resource  
Capacity on Demand リソースファイル  
codlit(1M), cod\_resource(4)  
『Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand 1.0 管理者マニュアル』  
『Sun Enterprise 10000 SSP 3.1.1 User Guide』

名前	codlit - Capacity on Demand ライセンスキーのインストール
形式	<b>codlit</b> [-h] <i>files</i>
機能説明	<p>codlit は、Capacity on Demand のライセンスキーをライセンスファイルにインストールします。このコマンドを実行する前に、購入先に連絡して、ライセンスキーを入手してください (『Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand 1.0 管理者マニュアル』) を参照して、ライセンスキーを SSP にコピーしてください。</p> <p>codlit は、ライセンスキーファイルだけでなく、現在のライセンスファイルが有効であるかも検証します (この検証は、codd(1M) で実行されるものと同じです)。この検証によるエラーメッセージは、標準エラーに出力されます。</p> <p>以下のような場合、codlit はライセンスのインストールを行いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ インストールしようとしたライセンスは、すでにライセンスファイル中にコピーされている。</li> <li>■ インストールしようとしたライセンスは、期限切れである。</li> <li>■ インストールしようとしたライセンスは、正しいプロセッサの列にない。</li> <li>■ インストールしようとしたライセンスは、正しいホスト ID を保持していない。</li> <li>■ インストールしようとしたライセンスのシグニチャーコードは、ライセンス行と一致しない。</li> <li>■ インストールしようとしたライセンスは、事前に要求されるプロセッサの列を満たしていない列レベルにある。</li> </ul>
オプション	<p>以下のオプションがサポートされています。</p> <p>-h                    コマンドの使用法を表示します。</p> <p><i>files</i>                1 つ、または複数のファイル名のリスト (複数の場合はスペースで区切られる)</p>
戻り値	正常終了した場合、codlit はゼロを返します。それ以外の場合は、ゼロ以外の値を返します。
使用例	<p>例 1</p> <p>以下の例では、codlit が各ライセンスキーファイルを示すメッセージを出力しています。</p> <pre>ssp% codlit file codlit: x license key(s) installed from file, file</pre>

codlit(1M)

保守コマンド

関連項目

codd(1M)

『Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand 1.0 管理者マニュアル』

『Sun Enterprise 10000 SSP 3.1.1 User Guide』

名前	codsendlog - Capacity on Demand のセキュアログファイルを電子メールでサンに送信
形式	<b>codsendlog</b> [-h] [monthly]
注意	このコマンドは、実行しないでください。このソフトウェアは、サンの保守スタッフが使用するものです。お客様はご使用になれません。
機能説明	codsendlog は、Capacity on Demand のセキュアログファイルを電子メールでサンに送信します。  ログファイルの送信先アドレスは、cod_resource(4) ファイルの SunAddr リソースで指定されたものになります。SunAddr リソースがない場合は、電子メールの送信先は、COD_lic@sun.com になります。
オプション	以下のオプションがサポートされています。  -h                    コマンドの使用法を表示します。  monthly              このパラメタは使用しないでください。cron(1M) によって月毎に起動される、各月のログファイルのローテーションユーティリティーによってのみ使用されます。
戻り値	正常終了した場合、codsendlog はゼロを返します。それ以外の場合は、ゼロ以外の値を返します。
関連項目	codd(1M), cod_resource(4)  『Sun Enterprise 10000 Capacity on Demand 1.0 管理者マニュアル』  『Sun Enterprise 10000 SSP 3.1.1 User Guide』

codsendlog(1M)

保守コマンド



## 第2章

### ファイル形式

---

名前	Intro - Capacity on Demand 1.0 ファイル
機能説明	このセクションには、Capacity on Demand 構成ファイルのマニュアルページが含まれています。
コマンド一覧	cod_resource Capacity on Demand リソースファイル

名前	cod_resource - Capacity on Demand リソースファイル
機能説明	<p>cod_resource ファイルには、Capacity on Demand リソース情報が含まれています。このファイルは、Capacity on Demand デーモン codd(1M) の起動時と、codsendlog(1M) によって codd デーモンが呼び出されたときに、codd デーモンに読み込まれます。</p> <p>cod_resource ファイル中のリソースは、以下の書式になっています。</p> <p>リソース名 : リソース値</p> <p>リソース名は、リソースの名称です。リソース値は、各リソースで使われる値です。各リソース名は、cod_resource ファイル中で 1 回だけ使用できます。リソース名では、大文字・小文字は区別されます。</p> <p>LicenseNotifyList リソースは、電子メールで違反の警告を送るユーザー名の一覧です。cod_resource ファイルのデフォルト設定では、LicenseNotifyList は ssp ユーザーになります。ssp ユーザーを LicenseNotifyList リソースから削除した場合 (または、LicenseNotifyList リソース自体をこのファイルから削除した場合) でも、ライセンス違反の警告メールは、ssp ユーザーに送付されます。cod_resource ファイル中のリソースは、テキストエディタを使用して変更できます。LicenseNotifyList の値は、以下の例のようなスペースで区切られた電子メールアドレスになります。</p> <pre>LicenseNotifyList:ssp root</pre> <p>SunAddr リソースは、セキュアログファイルを月毎に自動送付する、サンの保守スタッフの電子メールアドレスが入ります。必要に応じて、テキストエディタを使用して cod_resource ファイルを編集すれば、このメールアドレスは変更できます。たとえば、サイトの外側に電子メールが送付できるように、メールアドレスを追加したい場合などです。SunAddr リソースを除外した場合でも、セキュアログファイルは、COD_lic@sun.com に送付されます。これはデフォルトの電子メールアドレスです。</p> <p>デフォルトでは、cod_resource ファイルは以下のような設定になっています。</p> <pre>LicenseNotifyList:ssp SunAddr:COD_lic@sun.com</pre> <p>cod_resource ファイルを変更する場合は、次のようにして SSP を停止させ、変更後に再起動してください。</p> <pre>ssp# /etc/init.d/ssp stop ssp# /etc/init.d/ssp start</pre>
ファイル	<p>次のファイルがサポートされています。</p> <pre>\$\$SSPVAR/.ssp_private/cod_resource</pre>
関連項目	codd(1M)

cod\_resource(4)

ファイル形式